

東北地方太平洋沖地震における沖縄総合事務局の対応について

内閣府沖縄総合事務局長
竹 澤 正 明

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震で被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々に心からお悔やみを申し上げます。

今回の震災は、我が国戦後最大の危機ともいうべきものであり、目下その対応について、政府として、最大限の努力を傾注しているところでございます。

沖縄総合事務局としまして、3月11日の地震発生直後、(1) 沖縄地方に発出された津波注意報等に即応し、「沖縄総合事務局災害対策本部」を設置し、局をあげて津波等に対する監視を行い、(2) 14日には、被災地の道路等インフラ復興の事前調査を目的として、開発建設部から先遣班を派遣しました。(3) その他、経済産業部等において、所要の対応をいたしているところです。

なお、いささかなりとも、被災された方々にお役に立てるよう、沖縄総合事務局庁舎一階ホールに義援金の募金箱を設置したところです。ご協力いただいた義援金は沖縄県共同募金会にお届けする予定です。

沖縄総合事務局といたしましては、今後とも、災害に強い沖縄県づくりに貢献するとともに、全国各地の災害対応にいささかでも貢献できるよう、普段からの備えを十全にいたしてまいりますので、県民の皆様のご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。